

令和 7 年 9 月 9 日

部農会長・部農会会員の皆様へ

J A ふ じ 伊 豆
韮山営農経済センター

第10回 (9/9号)

水稻病虫害発生予察の結果について

① 生育状況

生育状況は昨年に比べて前進傾向に推移しています。韮山、長岡、大仁地区の白山堂では乳熟期から固熟期に入っていました。大仁地区の神島では穂が色つき始める黄熟期にかかっています。収穫2週間前までは水が必要な時期になりますので調整が可能な圃場では間断灌水の管理をお願いします。

山間地では収穫期に入っており、収穫が済んだ圃場も多く見られるようになっていました。

② 病虫害状況

今回の調査では、ウンカ類、ヨコバイ類の、発生数も少ないため被害の心配はありません。また、今回の調査した圃場ではカメムシの発生は確認されませんでした。管内ではカメムシの発生が確認されており、圃場の中でカメムシの匂いがするという報告も受けております。糊熟期の圃場ではカメムシの被害が発生する恐れもありますので、ご自身の圃場を確認していただき、発生が確認された圃場では薬剤防除の検討をお願い致します。



↑イネカメムシ



↑ホソハリカメムシ

殺虫剤

○トレボン粉剤DL 3～4kg/10a 1,400円/1袋 (3kg)

時 期：収穫7日前まで

備 考：ウンカ類、ヨコバイ類、イナゴ類、カメムシ類

秋ウンカに対して散布する場合は、株元に掛かるように行う。

問い合わせ：韮山営農経済センター 佐藤 055-949-0055

※JAふじ伊豆ホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しました。